

多様な生産基盤活用技術開発事業（継続）

【39（43）百万円】

対策のポイント

農業生産基盤の多様な価値を活用し、農業振興を図るための整備・管理技術の開発を行います。

- ・ 農業・農村は、私たちが生きていくのに必要なお米や野菜などの生産の役割を果たしています。しかし、それだけではありません。田んぼや畑、農村のまわりの景観や自然、農業を通じて培われた伝統文化など、私たちの生活に大切な役割を持っています。このことは、「農業の多面的機能」と呼ばれています。

政策目標

生態系保全と農業生産を両立する生産基盤の整備・管理技術を開発

< 内容 >

生態系保全と農業生産を両立する先導的な取組みにおいて、作物育成に適した湛水、落水等の水利状況と生物の遡上、産卵等の生活史に適した生息環境が異なることなどの課題に対し、農業者、学識経験者等の意見を踏まえながら、現地において施設整備、管理の実践により検証を行い、作物と生物の生育条件の最適化に対応した農地・農業用施設整備・管理技術を開発します。

< 事業実施主体等 >

- 1．事業実施主体 民間団体
- 2．補助率 定額
- 3．事業実施期間 平成18年度～平成20年度

[担当課：農村振興局整備部地域整備課（03 - 3502 - 6338（直））]